

これまでの取組や指標(目標)達成による効果を、金額(見込額、試算額)や伸び率等により、可能な限り数値化

■経済効果

工業出荷額
7.1%増加

【産業戦略指標】

実績値

平成26年は6兆5,196億円で、計画策定時(H24)の6兆860億円から**7.1%の増加**と、**国5.7%の増加**を上回っている。

売上金額
267億円

医療関連産業クラスターの形成P
環境・エネルギー産業クラスターの形成P
水素利活用による産業振興と地域づくりP

計画(推計額)

やまぐち産業戦略研究開発等補助金を活用し、平成32年度までに、**事業化件数80件、売上金額約267億円、雇用人数約300人**が見込まれる。

- ・医療関係(事業化件数41件、売上金額179億円、雇用人数158人)
- ・環境・エネルギー関係(事業化件数39件、売上金額88億円、雇用人数151人)

消費拡大
325億円

【産業戦略指標】

明治維新150年に向けた観光需要の拡大P

計画(推計額)

延べ宿泊者数500万人の達成にあわせ日帰り観光客の増加を含め推計し設定した旅行消費額の目標は4,367億円であり、計画策定時(H24:429万人)と比べ**325億円の消費拡大**が見込まれる。

※延べ宿泊者数500万人(推計を行う上で、この場合の実宿泊者数は400万人と推計)達成にあわせ、日帰り観光客の増加を含めた推計値

※「2008年旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究(観光庁)」の平均単価より2011年の単価を推計し、本計画期間中の単価として固定したもの

客船寄港
2億円

クルーズ船の誘致推進P

実績(推計額)

平成27年のクルーズ船寄港は**19回で、昨年比6割増**。また、寄港による**経済効果は約2億円**と試算される。

- ※平成27年は国内外から約7千名が来県。
- ※一人当たりの経済効果3万円で試算。(国土交通省資料)
- ※平成26年のクルーズ船寄港回数は12回。

■雇用維持・創出

新規雇用
29%増加

【産業戦略指標】

実績値

平成25年から3か年(H27:速報値)の新規雇用創出(18,732人)は、平成22年から3か年(14,556人)に比べ、**28.7%(4,176人)増加**。

新規投資
9.1%増加
(新規雇用約1600人)

【産業戦略指標】

戦略的な企業立地等の推進P

実績値

計画

平成25年から3か年の新規投資件数(企業誘致・規模拡大投資)は144件で、直近3年間(H22~24 132件)と比べ、**9.1%増加し、新規雇用人数(計画)は、1,646人**。

■産業活動の円滑化

コスト削減
年間1割

物流拠点港湾の機能強化P

計画(推計値)

国際バルク戦略港湾の整備により、石炭輸送コストは、平成28年度から**年間約1割(23億円)の削減**が見込まれる。

・ケーブサイズ級船舶の入港が可能となった場合は年間約3割(100億円)の削減見込み

鉄道車両
直送270両

物流拠点港湾の機能強化P

計画(推計値)

徳山下松港下松地区の岸壁改良により、英国に向けて、**高速鉄道車両の直送が可能**となった。平成28年度までに**270両の出荷**が見込まれる。



物流等基盤の強化P

計画

主要渋滞箇所のうち、期間中に目標とした**5箇所全ての渋滞が緩和**される見込み。

このうち、平成27年3月の下関北バイパスの開通によって、**3箇所の渋滞が緩和**されるとともに物流等の円滑が図られた。

- ・所要時間の短縮：最大約14分(下関駅～安岡公民館間)
[旧国道191号経由(延長9.0km)約29分 ⇒ 下関北バイパス経由(延長8.6km)約15分]

※国土交通省資料

■その他



「やまぐちブランド」等の販路拡大P

実績値

山口県のおすすめ食材「ぶちうまファイブ」(地酒(酒米)、ゆめほっぺ、長州黒かしわ、のどぐろ、特選乾椎茸)について、平成26年度の出荷数量は、平成24年度から平均で**54.6%増加**。

- ・酒造会社と連携して増産に取り組んでいる酒米生産量は、平成27年度は24年度の約2.7倍。